

今までは、ずっと黙っていた
ましたが、黙っていられない。
時代の空気が、再び戦争
をするかもしれないというふ
うになっています。

日本がアメリカと開戦した
1941年12月に海軍兵学校
を卒業しました。翌年、日本
が敗北し戦争の局面を大き
く変えたミッドウェー海戦
に参加しました。「赤城」な
ど空母が次々沈められ、残っ
た空母から戦闘機が出撃する
姿を見てきました。多くの仲

許すな 安倍9条 改憲

元日本基督教団議長

後宮 俊夫さん

戦争の空気沈黙だめ

間を失いました。当時の人々
も日本を守ろうと思ひ、命を
かけたのです。相手の国、
人々の平和を考えずに、自分
の国のことばかり考え、「自
衛」と思いこまれて戦争を
してしまいました。二度と繰
り返してはならない歴史で
す。

靖国を敬う首相

いま、安倍晋三首相は、9
条を変えることで日本を守る
と主張しています。自衛隊を
憲法に明記する、自衛権を憲
法に書き込むと言います。し
かし、「自衛」を名目にしな
かった戦争はなかったのでは

ないでしょうか。

困窮者の支援を

安倍首相は、安保法制で、
日本が直接攻められなくて
も、集団的自衛権の行使とし
てアメリカの戦争に、自衛隊
が参加できるようにしまし
た。次の狙いは、その自衛権
の無制限の拡張です。そのた
め9条改憲です。

つもりでしょう。安倍首相は
先の日本の戦争をまったく反
省していないと思えます
ん。



うしろく・としお 日本基督
教団の牧師、同教団元議長。1922
年和歌山市生まれ。1941年海軍
兵学校卒業。海軍の士官として
各地で戦闘に参加。戦後、京都市
の世光教会などで牧師。日本基
督教団議長はじめ、社会福祉法
人近江ちいろば会理事、学校法
人敬和学園理事長などを歴任。

安倍首相がやっているの
は、戦争準備以外のなにもの
でもありません。首相は靖国
神社を大切にしています。戦
争中、戦争で死んで靖国神社
にまつられれば、家族は幸福
に生きていけると信じ込まさ
れました。それで多くの若者
が命を捨てていったのです。
靖国神社は若者を死においや
る道具でした。自衛隊の人も
殉職したら靖国神社にまつる

聞き手・写真 若林明